

## 野川台自治会

## あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会  
発行者：野川台自治会長

川崎市宮前区

TEL.

協力：西野川小・野川中PTA、野川小、南野川小、  
おやじの会、すずの会、一葉会、青少年指導員、  
地区民児協、地区社協、野川こ文ほか編集：福祉の風土づくりを進める会事務局  
代表

## 家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして

あいさつ運動を始めてから11年目、子どもたちの思いに応じて「あいさつの輪」、  
さりげない「お節介の輪」の拡がりを通じて、信頼と支え合う“絆”づくりを皆さんの手で！

## 「おはようございます。」

野川中学校 生徒指導担当 井上 教夫

私が子どものころは、急に雨が降り出すと、下してある洗濯物を気にしてくれて、「井上さん、雨ですよー。」と近所の方が声を掛けて下さいました。また、野球少年だった私は、暗くなるまで空き地で毎日のように野球をしていたのですが、見ず知らずの方が、「もう暗くなったから、おうちに帰りなさい。」と言ってくれて、家に帰ることもありました。地域の方に会ったと必ずあいさつの言葉に加えて、「お使い、えらいね。」とか「車に気をつけなさいよ。」と言ってくれました。地域に住んでいる方々は、いつも子どもたちを見守ってくれていました。そして、家族のように接してくれました。

今は、スマホやゲーム機があれば一日だれとも話をしないで過ごせる時代です。また、若者のコミュニケーション能力の低下がクローズアップされています。ラインでのやり取りは、会話ではありません。言葉にして初めて会話が成立します。「おはようございます。」は会話の始まりですね。大切にしたい言葉です。

## “他学年との交流を増やしたい”という児童の声

西野川小学校 運営委員会担当 橋本有紀子

「おはようございます」と、子どもたちの元気な声が響く朝。西野川小学校では、毎週火曜日のあいさつ運動に加え、月曜日と金曜日に運営委員会の児童が中心となって、あいさつ運動を行っています。「あいさつで、学校を明るくしたい」と意気込み、先輩たちも行っていたあいさつ運動のバトンを大切に受け継いでいます。

今年度、代表委員会の話し合いで、“他学年との交流を増やしたい”という意見が、多くの学年から出てきました。そこで、ど



西野川小学校の朝のあいさつ運動

うすれば交流できるのかを考えた際、最初に出てきたのが、“あいさつを通じた交流”でした。次の月曜日、校門には多くの児童の姿がありました。運営委員会と共に色々な学年の児童が「おはようございます」とあいさつをしていました。誰に言われたのでもなく、自ら参加していたのです。多くの子が共にあいさつする姿に感心しました。子どもたちの心に芽生えたあいさつの芽が成長し、野川の町にあいさつの大樹が根付くことを願っています。



心が和む第3公園の花壇

## 「人と関わる力」！

宮前区役所地域みまもり支援センター

担当部長 松浦 和子

昨年4月から地域みまもり支援センターが組織され、各地区に担当の保健師が配置されましたが、地域の方々からは、「うちの保健師さん！」と呼んでいただき、温かく迎えていただいたこと、大変嬉しく思っております。

さて、川崎市では全ての地域住民の方を対象とした地域包括ケアシステムの構築を目指しておりますが、将来の担い手の育成は最も大切なことのひとつです。学齢期の子どもたちが学校から出て積極的に地域の方々と交流し触れ合うことは、地域への愛着と親しみが深まるだけでなく、自然に周りを気づかうことができる力、いわゆる「人と関わる力」をも強くします。地域包括ケアシステムの推進に一番必要とされるのがこの力です。あいさつ運動はまさに地域とのふれあいの第一歩です。この運動で育った子どもたちが、将来「人と関わる力」を持つ頼もしい存在として、宮前区のまちづくりを我々と共に担ってくれることを大いに期待しています。



## 支え合う地域コミュニティづくりを

—— あいさつは、気づき、見守りのはじめ ——



### うるおいのある公園として表彰！

昨年11月野川台自治会内にある六つの公園は、各公園協議会の長年に渡る美化清掃の努力が実り、宮前区社会福祉協議会から表彰されました。朝夕の通勤通学の際、清涼感を与える公園、乳母車が集まってくる昼下がりの公園、そして午前中は高齢者の体操や近隣の幼稚園、保育園の園児の遊びの場、午後には大きい子どもたちの遊びの空間と言うようにバラエティに富んだふれあいの場、いこいの場として親しまれています。

今年度も3回、自治会、公園協議会の呼びかけに応じて、延べ400名近くの住民が公園美化清掃に参加し、大きなビニール袋約630袋にゴミや枯れ葉などを収集し、お陰様で見違えるように綺麗になりました。

### マナーを守り、安らぎのある公園づくりを

一方最近マナーが良くなったとはいえ、たばこのポイ捨て、自転車の放置、夜間におけるカップラーメンなどのゴミのひどい散らかし、植栽したばかりのサツキを抜く子どものいたずら等が残念ながらまだまだみられます。その度に、協議会のメンバーが注意したり、早朝ボラがその対応に追われています。“ゴミがゴミを呼ぶ”悪循環や犯罪の温床にならないよう、地域の人も、学校も保護者も、みんなで美化に努めましょう。



### “オレオレ詐欺”の被害にあわないために!!

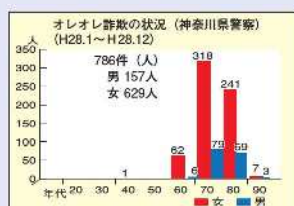
最近、野川地域にも不審な電話がかかってきています。地域や隣近所の人とお互いに注意しましょう。

- (1) 留守番電話を設定しましょう
- (2) 知らない番号に出ない
- (3) 家族に必ず確認し、警察にも連絡しましょう
- (4) 面識のない人にはお金を絶対渡さない

(宮前警察署 044-853-0110)



オレオレ詐欺見破りDNA作戦 (神奈川県警察)



オレオレ詐欺の年代別件数

### 11月17日合同防犯パトロール実施

野川台自治会は平成24年から、毎年、合同防犯パトロールを宮前警察署・区役所の指導のもとに実施。昨年は11月17日に西野川小・野川中の先生と保護者等約30名の方の参加を得て行いました。

なお、本年度に第一公園付近に防犯カメラを設置する予定です。



青色回転灯車と合同パトロール

### そんな中、求めたもの、そして希望は、人のつながり

認知症介護研究・研修仙台センター長 加藤 伸司

平成23年3月11日に起きた東日本大震災では、これまで私たちが経験したことのない大地震と津波がこの仙台、東北地方、東日本を襲いました。

築いてきた家や地域は瞬く間に崩壊し、多くの尊い人命が失われました。地震は山を崩し地を裂き建物を引き込み、津波は、町、地域全体を飲み込んでいきました。ほんのわずかな時間の出来事でした。皮肉にも地域の温かみ、人の有難さ、家族の大切さを改めて感じざるを得ない出来事でした。今も不気味に余震が続きその度に隣にいる人、つながりのある人の安否をきにしています。

ライフラインは壊滅的被害を受け、近年、新たなネットワークとしての役割を担っていた携帯電話、メール、パソコンは使えず、何の情報を得ることすらできませんでした。そんな中、求めたもの、そして希望は、人のつながりでした。近所の人のごくわずかな情報と励まし、助け合いが多くの人を救いました。地域の（信頼）、お互いさまの心（互酬性の規範）、人と人とのつながり（ネットワーク）をこんなに強く感じたことはありません。

(H23「自助・互助機能活用とソーシャルキャピタル指標開発の研究事業報告書」の加藤氏の「はじめに」を引用)



奇跡の一本松 (陸前高田市提供)



# ひとことで みんなの顔に 花がさく

—— 人と人との心をつなぐ ——



## みんなを 明るく 元気にしてくれます

— 野川地域の三つの小学校の児童の声 —

### 西野川小学校

✿ 私は、あいさつ運動でだれにでもあいさつをすることを知った。あいさつがにがてな私は、毎日あいさつができなかった。だけど、あいさつ運動がはじまり、あいさつが少しずつできるようになった。朝、正門であいさつをし、友だちとも元気にあいさつができるようになった。人とのつながりは、あいさつが大事だと気がついた (3年 前田 夏咲)

✿ 私は、あいさつをする事はとても良い事だと思っています。それは、あいさつをするとみんなが、えがおになるからです。西野川小でのあいさつ運動のときも、たくさんの人があいさつをして、学校のみんながえがおになれると思います。これからも、えがおいっぱいになるといいと思います。 (3年 岸本 陽花)



地域の人も朝のあいさつ!



下校時の元気のよいあいさつ!

### 野川小学校

✿ あいさつをすると、みんな笑顔になれます。話したことのない人やほかの学年などと、あいさつができるのは、とてもいいことだし、たった少ない文字なのに、人を笑顔に出来るすてきな言葉「おはよう」をたくさん言って、周りの人も自分も気持ちよく、笑顔で一日のスタートを切れるよう元気に大きな声で、「おはよう」とあいさつをしたいです。

(5年 古賀まひろ)

✿ 僕は、あいさつをすることで、一口、頑張ることができると思います。あいさつ運動を通して、話したこともない、知らない人と、かかわることができるので、これからもあいさつ運動を続けていきたいです。

(6年 嶋田 智)



ふれあい委員も!



みんな大きな声で!

### 南野川小学校

✿ あいさつ運動を始めた頃は、あいさつをする人が少なく、元気な人が少ないのかなと思いました。けれど、あいさつ運動を始めて少したった頃、あいさつをしてくれる人が増えてきました。私は、とてもうれしくなりました。あいさつをしてくれると、朝から元気になります。あいさつは、みんなを明るく元気にしてくれます。 (5年 鈴木 愛依)

✿ あいさつは、みんなとのコミュニケーションツールの一つです。そのあいさつを増やすためにあいさつ隊をやっています。夏の暑い日には蚊に刺され、冬の寒い日には頑張ってあいさつをしてきました。最初は声をかけても知らん顔の人も、続けていたら返事が返ってきてうれしかったです。あいさつは基本なので、これからも続けていきたいです。 (6年 柳本 和真)



代表委員、企画委員も参加!



民生委員も一緒に!

メモ 野川地域の4つの小・中学校では、児童・生徒の自主的な運営委員会等が、音頭をとってあいさつ運動を10年継続

### 施設訪問

## “あったか カフェ” オープン

### 富士見プラザ

「楽しいから、来ているの!」と笑顔で話すお年寄り、家族的雰囲気の中で、同じ思いを分かち合える場、それが富士見プラザの“あったかカフェ”です。

昨年3月から始めた“カフェ”では、認知症の方や物忘れが気になる方とその家族が来られ、お茶を飲みながら、おしゃべりをしたりして楽しい一時を過ごしています。地域包括支援センターのケアマネージャーやスタッフも一緒にその輪に入り、それとなくご本人やご家族の思いや悩みの相談に応えたり、時にはお医者さんに繋げたりし、地域の支え合いの場、心のよりどころの場になるよう頑張っています。(富士見プラザ・地域包括支援センター、740-2883)



# 学校と地域のつながり

## 学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

### “風の子まつり”で満喫

たこ焼きをほうばり“ブルーシートの特設舞台”で南野川小学校スクールバンドの生演奏にリズムをとりながら満喫している子。「友達と一緒に食べて、聞いて、ゲームをして、色々なことを一日で楽しめて嬉しい！」と満面の笑顔で話をしてくれた二人の4年生の女子。



“今日は、待ちに待った風の子まつり”



スクールバンドも熱演！

これは、12月4日の絶好の冬晴れの日で開催された「風の子まつり」でのひとこまです。野川こども文化センターと同運営協議会の共催で、第32回を迎えたこの日、若いお父さん、お母さんも大勢我が子と一緒に遊び、延べ800名近くの間参加がありました。焼きそば、とん汁、綿あめ、たこ焼き、おもち、カレーの店、竹細工やお楽しみコーナー、そして「スクールバンド」や「野川親子太鼓・大地」の生演奏と盛りだくさんの企画。地域の保護者の方等、延べ200名近くの間方さんによって支えられた楽しいお祭りでした。(館長 山本)

### 地域の人とのつながり

8月に寿楽園納涼祭に出演させていただきました。「川の流れのように」など施設の方々も親しめる曲を演奏し、私たちも一緒に楽しむことが出来ました。



親しめる曲を演奏(寿楽園納涼祭)

お客様も曲に合わせて手拍子をしてくださり、私たちが演奏することで、多くの方の笑顔を見ることができて嬉しかったです。また11月には影向時祭りに出演させていただきました。たくさんの地域の方々が足を運んで下さり、会場一体となって盛り上がる事が出来ました。演奏を通して地域の方々と一緒に温かいコンサートを作り上げることができ、良い思い出となりました。今後も地域の方々ととのつながりを大切に日々活動していきたいと思っています。

(吹奏楽部 3年 帯刀 麻優)

### 女子ソフトボール部 県大会準優勝の快挙!

女子ソフトボール部の一日は、朝の正門の前の清掃と地域の人とのあいさつから始まります。



うれしい市大会優勝!

昨年の川崎市の新人戦で、剛腕ピッチャー

の基に打撃陣もコンパクトなスイングに徹し、順当に勝ち進み優勝。チームワークとその勢いを維持し県大会に駒を進めました。

37校が出場した県大会で、野川中は決勝戦まで勝ち進み、前年の覇者、強豪横須賀市立大津中学校と対戦。決勝戦にふさわしく、お互いに点を取ったり、取られたり打撃戦になりましたが、一瞬の守りのミスから逆転負けをし、準優勝。でもこの1年間、地域の人からの朝の温かい声かけを励みにしながら、日々の練習が実り、充実した一年であったことが伺えました。

今春、心を新たに冬のトレーニングでもう一度下半身を鍛え、夏の大会に臨みたいと今朝も「朝の清掃」から練習が始まりました。(顧問、太島、鈴木先生)

### 「社会を明るくする運動」で表彰

「社会を明るくする運動」宮前地区推進委員会は、毎年、良い行いをした青少年の表彰をしております。

今年度の団体の部の受賞者は、野川地域から三団体が選ばれました。そのうちの二つは、音楽を通じて地元野川のイベントに積極的に参加し、地域の人との係わりを大切にしている南野川小学校スクールバンドと野川中学校吹奏楽部(上記参照)です。もう一つは野川中学校福祉厚生委員会で、毎年、委員会のメンバーを中心に、地区社協主催の「福祉まつり」にボランティアとして参加し、笑顔と心温まる対応で、福祉祭りを支えて下さいました。皆さんおめでとうございます。これからもよろしくをお願いします。(顧問、増井、白井、太島先生)



みんなで心温まる対応!



表彰式にて

### 編集後記

高齢者の急増、支える世代の減少の中で、引用させていただきました加藤伸司先生は、その後に「普段は見えにくい地域のつながりや助け合いを作っていくことが、わが国が今後目指すべき地域包括ケア体制構築には重要な課題となっていきます」と記しております。その意味でも即効薬ではありませんが、あいさつ運動はお互いの風土づくりの一助になつていくと受け止めています。(日高、原、狩山、辻本、櫻井、岩本、後藤、前之園)